



パソコンに夢中な子どもたち！（カンボジア孤児院）

皆さまの御支援、いつもありがとうございます。

五月末に行われました孤児院の総会では、委任状の送付など、皆さまには大変お世話になりました。今年は理事の再選の年でしたが、理事全員が再任となりました。さらにこれからの任期でも理事一同、その使命を全うする思いで邁進する所存です。当孤児院のホームページに、お知らせとして掲載してありますが、皆さまにお願いしておりました緊急の必要に関し、ほぼ全額が満たされましたことを、感謝をもってご報告させていただきます。本当にありがとうございました。

しかしながら、各孤児院の運営費など、定期的な必要に関しては厳しい状態が続いており、さらに皆さまの御支援をお願いせざるを得ないのが正直なところです。孤児院を取り巻く、孤児院所在国の状況も、大きく変化してきており、様々な必要も増加の一途であります。このような環境の中で、さらに一人でも多くの子どもたちを助けていくためにも、是非、これからも皆さまの御支援、心からお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為、皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。今年、中学受験と高校受験を受ける子ども達は2人だけですが、後期試験が6月中旬から後半にかけて行なわれます（今日現在6/11）。前期試験は、2人共に合格していますので、後期試験においても良い結果を期待しています。他の学年も最後の大切な進級試験が行われますが、今年は6月から7月に変更されたと聞いています。今年も、全員進級出来るよう



に、スタッフ達と共に祈り願っています。以前子ども達が通っていた学校の先生だったマレーシア人の方が、6月はじめ頃、数年ぶりにカンボジアに来られて子ども達を訪問して下さいました。子ども達の心身共なる成長振りにビックリされると共に、大変喜んで下さいました。皆様のご支援により、子ども達が学校に通い学び続けることが出来ている事、また健康面に置いて1人1人が強められて来ている事を、心から感謝致します。

ろうそくをじっと眺める子どもたち。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝いたします。2014年～2015年の新たな学年が始まりました。今年度、礎の石孤児院の就学支援プログラムに参加するのは35名です。スモーキーマウンテンから16名、マハヤハイから8名、ダバオから4名スアワンから5名、そしてタクナンから2名です。小学生が23名、12名がハイスクールです。いつも皆様の温かいご支援を頂き、誠にありがとうございます。これらの子どもたちが学校へ通えるように、学費、学用品費、カバンや制服、上履き、靴などの



必要があり、一人当たり94.34ドル、35名分で33,019ドル（約34万円）が必要となっています。また、制服としても使える白のポロシャツ、または白のTシャツ、白靴下、カーキ色の長ズボンまたはジーンズ、学校用の黒のゴム靴、バックパックなどがありましたら、お送りいただくと大変助かります。皆様のお温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

プレゼントをいただいた子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に、ザンビア孤児院一同、心から感謝申し上げます。4月に、カセンガ孤児院のスティーブンが、悪性のマラリアにかかってしまった事（幸い病院で治療を受け快復しています）を、先月のニュースレターでお伝えしました。

その後、マラリアの原因であるマラリア蚊の侵入を防ぐために、全ての網戸の修理をすることができました！

さて、ザンビアに戻る日へのカウントダウンが始まったのですが、今後なすべき事を、あれこれ考えて毎日過ごしています。

ザンビア孤児院は今、大きな転換期を迎えようとしています。



新しくなった網戸。

今後、更に多くの子どもたちに救いの手を差し伸べて行くために、何をなすべきなのか。

国全体の中で、“孤児”が生み出される土壌を改善していくこと、また、一人一人が貧困から脱却して、自立した人生をサポートしていく…そんなところまで踏み込んだビジョンを描きながら、具体的に次へのステップを進めたいと考えております。

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご支援とご協力をいつもありがとうございます。ブラジルではワールドカップが始まるので、至る所で大画面のテレビ観戦が、できるスポットが作られて



香港まで送ってくださったフロールさん(左)と！

ています。さて、私は体調が良くなってきました。毎日バランス良く栄養をとれるように気をつけています。5月、アラサトゥーバの体育館にて、年に一度、サンパウロから来る医療チームが、簡単な検診をして下さいました。私は以前B型肝炎を患ったことがありましたが、一昨年、日本で健康診断をした時に、肝機能の数値が少し高めで、今回、検査をしていただきましたが、肝臓の値も含めて異常なしでした。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>